

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/03/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



上げ一服感も、100ドル近辺で底堅く推移

NY原油先物相場は、1バレル=102.44ドルまで値上がりした後、92~100ドル水準を中心に売買が交錯する展開になった。週明けの取引では、米軍がイラン最大の原油積み出し拠点であるカーグ島を攻撃したことが材料視され、3月9日以来の高値を更新した。しかし、その後は短期的な過熱感から利食い売りも見られ、売買が交錯する不安定な地合になった。引き続きイラン戦争が供給不安を高めているが、原油相場は高値圏で売買が交錯した。

イラン戦争は2月28日の戦闘開始から3週間が経過したが、停戦に向かう兆候は乏しく、米国とイランの双方が停戦協議を拒否している。ホルムズ海峡の封鎖も続いているが、一方で米国はロシア産やイラン産の洋上在庫の流通に対する制裁を緩和するなど、供給ショックへの対応も見せている。ただし、中東全体でエネルギー関連施設が攻撃対象になる中、原油・天然ガスの供給不安は強く、100ドル水準では上値が重かったものの、高値圏で推移した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月13日時点）は、原油が前週616万バレル増、ガソリンが544万バレル減、石油精製品が253万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イラン戦争の進展状況に依存、供給障害が続くと堅調地合に

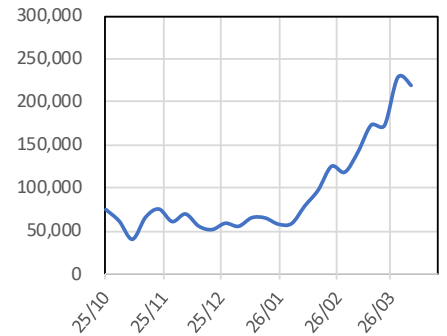
イラン情勢に強く左右される展開が続く見通しだ。戦争開始から4週間目に突入したが、停戦に向けた動きがみられない場合には、上振れリスクが維持される。ホルムズ海峡の封鎖継続、さらに中東各地のエネルギー関連施設が攻撃を受ける状況が続くと、供給不安で中東産原油とブレント原油を中心に、期近限月にリスクプレミアムを加算する動きが想定される。前週は100ドル台で持高調整を進める動きも目立ったが、3月20日に4月限の取引が終了しており、5月限に対して改めて投機マネーの流入がみられるのかが注目される。

特に、イランのカーグ島の原油輸出能力が大きなダメージを受けると、イランは周辺国の石油関連施設に対する攻撃を強化する可能性が高く、注意が必要だ。トランプ米大統領はカーグ島に対する追加攻撃の有無について明言を避けているが、エネルギー関連施設に対する直接攻撃が増えていることは、原油相場の上振れリスクを高めている。110ドル台に乗せる可能性も想定しておく必要がある。

一方、トランプ米大統領は戦闘開始直後に、攻撃期間は4～5週間との見通しを示していた。軍事作戦の目標が達成されたとして停戦に向けた各国の動きが活発化すると、これまでの急伸地合の反動から急反落する可能性がある。イランは一時的な停戦ではなく恒久的な終戦を求める強硬姿勢を維持しているが、戦闘終結から原油・天然ガス供給の改善期待が強まると、これまでの堅調地合の反動安になりやすい。

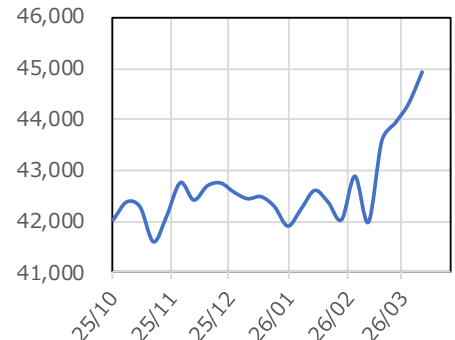
また、各国がホルムズ海峡の流通正常化を促すための取り組みを強化している。原油流通再開に向けた動きがみられた際にも、利食い売りが膨らみやすい。引き続き、上下双方に大きめのレンジを想定したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



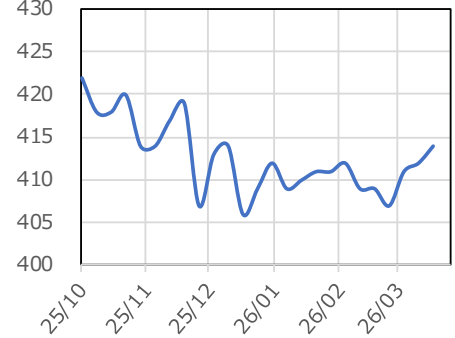
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

